

鳥取大学大学院 持続性社会創生科学研究科

Graduate School of Sustainability Science,
Tottori University



地域学専攻
Department of
Regional Sciences

工学専攻
Department of
Engineering

農学専攻
Department of
Agricultural Science

国際乾燥地科学専攻
Department of Dryland Science



持続性社会創生科学研究科
<http://gss.tottori-u.ac.jp/>



研究科長のあいさつ

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科長
坂口 裕樹

鳥取大学の鳥取地区では、これまで学部に関連する地域学研究科(修士課程)、工学研究科(博士前期課程)、農学研究科(修士課程)があり、これらは各専攻分野における研究能力または専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的として設置されておりました。

しかしながら、このような体制ではそれぞれが目指す専門的な研究やそれらに関連する学修のみに偏ってしまい、研究の社会的な意義を考えたり、社会に出てから必要とされる俯瞰的・総合的な考え方を養ったりする機会が希薄になりがちでした。また、昨今では大学院修了者に高い専門性のみならず、学問分野を超えて幅広く俯瞰的・総合的に物事を考えられる思考力が求められるようになりました。

そこでこれら社会的要請に応えるべく、人類が環境と調和しつつ生きることのできる持続可能な社会へ貢献できる人材を養成するために、2017年4月にこれまでの3研究科を統合し、1つの研究科とした大学院持続性社会創生科学研究科を創設しました。

本研究科は、4つの専攻で構成され、専門分野における高度な知識・技術と実践的能力を持つことに加えて、専門分野を超えた持続性社会創生に関わる幅広い知識に基づく俯瞰的な思考力を身に付け、国内外の社会の様々な場において、持続性社会創生に向けてのイノベーション創出に貢献できる高度専門職業人を養成することを教育目標としています。この目標に向け、学生が行う研究の質向上を確保するために教員の研究業績審査を定期的に行うなど、常に最新の研究を指導できる取り組みも行なっています。

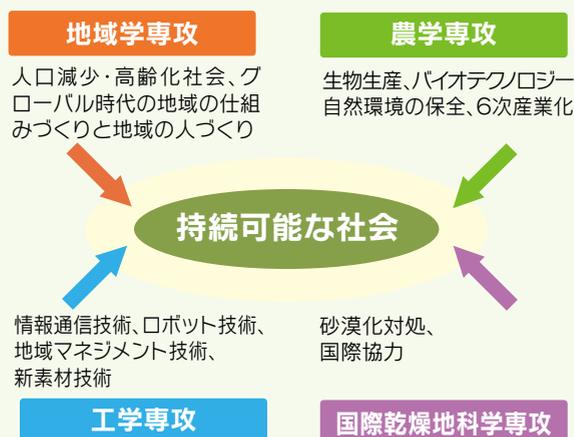
本研究科で学ぶ学生には、幅広い視野を持つことに加えて、持続性社会の創生に貢献できる高度専門職業人として、研究活動における課題の発見と解析を通して、その解決と説明までの総合的な能力の向上を目指していただきたいと願っています。

■ 専 攻 ■

持続性社会創生科学研究科(博士前期課程)は、従来の専門分野の枠を超えて持続性社会の創生に関わる体系的・組織的な大学院教育を行うための体制を取っています。本研究科は、幅広い課題を理解した上で、自らの専門性を深めるため、地域学専攻、工学専攻、農学専攻、国際乾燥地科学専攻の4つの専攻で構成されています。

■ 養成する人材像 ■

持続性社会創生科学研究科では、本学の強み・特色を活かし、持続性社会を創生するための知と実践の場を乾燥地と過疎地(地方)に象徴される限界的な地域に設定しました。これら地域で生起する地球規模の課題と地域の課題を対象に、専門分野を超えた幅広い知識に基づく俯瞰的な思考力を身に付け、国内外の社会の様々な場において、持続性社会の創生に向けたイノベーションの創出に貢献できる高度専門職業人を養成します。



学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

研究科の教育目的を踏まえ、学生が本研究科の定める科目を履修し、所定の単位を修得して論文等審査及び試験に合格し、次の能力を身につけたときに学位(修士)を授与します。

広い視野と深い学識を有し、問題の発見と解決に繋がる研究遂行能力または高度な専門性が求められる職業に従事する能力

高い倫理観を有し、専攻分野の学問の発展に貢献する能力

情報を集約し、専門性を生かし、他分野とも連携できるコミュニケーション力を有し、実践的でグローバルに社会で活躍できる能力

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次の方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 教育課程・教育内容

深い学識を身につけるための**展開科目**と**基幹科目**からなる**専門科目**、広く俯瞰的視野を獲得するための**基盤科目**と**超領域科目**からなる**研究科共通科目**を開講

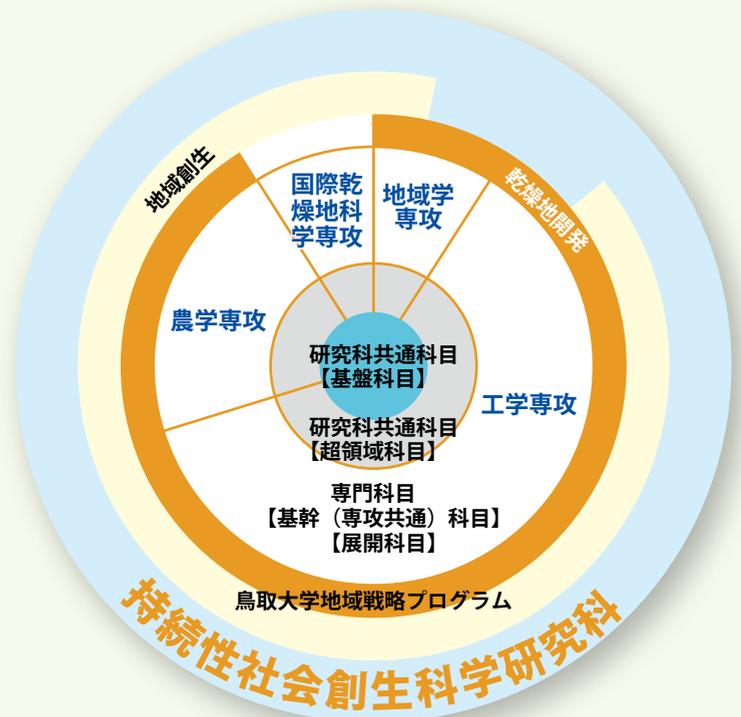
- 実践的能力を養うため、実践的演習・実習科目や研究指導に関わる科目を適切に配置
- 高い倫理観を養うため、必修科目として研究者倫理に関わる科目を開講

2. 教育方法

- 高度なコミュニケーション力育成のため、専門分野の異なる学生が交流できる機会を提供
- 課題の発見・解析・解決・説明の総合能力を向上させるため、講義、実践的演習・実習や個別指導を適切に組み合わせて授業を展開

3. 学修成果の評価

- 成績評価基準により、各科目の学修成果を評価
- 修士論文審査では、評価基準に基づき、学修成果を評価し、さらに修士論文等の新規性と独創性を厳正に評価
- 学生の学修成果とアンケートをもとに、教育課程を検証



鳥取大学地域戦略プログラム

本学の強み・特色である乾燥地開発と地域創生について体系的に学ぶ。地域創生と乾燥地開発の各プログラムを用意。

■ 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) ■

持続性社会の創生と発展を担おうとする入学者を国内外から受け入れるため、多様な入試により、次のような人を広く求めます。

それぞれの専攻の分野に関する学士課程の専門知識・技術等を身につけている人

地球規模の課題と地域の課題に関して、幅広い視野と深い知識の修得を志す人

高い倫理観を身につけて、持続性社会の創生と発展に他者と共同して貢献することを志す人

専門性を生かし、他分野との連携を図るコミュニケーション力を身につけようとする人

公共的課題の解決と個性豊かで持続可能な地域の創造を担う、
高度な専門的知識と実践力を兼ね備えた人材養成

コースの目的

地域創生コース

公共的課題の解決や個性豊かで持続可能な地域の創造をめざすために、地域創造分野や国際地域文化分野の知識をベースに、地域政策や地域づくり、文化資源の活用、コミュニティネットワークの形成など、人の視点を重視した地域づくりを行うことができる人材を養成します。

歴史学 文学 地理学 経済学 政治学 社会学 政策科学 など

人間形成コース

個性豊かで持続可能な地域の創生、生涯発達・地域教育に立脚した人間形成のために、地域を総合的に把握する能力を有し、かつ高度で専門的な知識と実践力を兼ね備えた人材を養成します。

教育学 心理学 教科教育学 保育学 特別支援教育学 など

地域との共同研究プロジェクトにおけるワークショップ



附属小学校における
教育実践



修士論文発表会(地域創生コース)



修士論文発表会(人間形成コース)



専攻 URL

https://www.rs.tottori-u.ac.jp/graduate_school/index.html

もっと自分を輝かせるために、ワンランク上の研究を！ ～持続可能な農林業を推進する技術者・研究者へ～

Department of Agricultural Science

農学専攻

教育・研究の特色

現在の農学は、持続可能な農業生産に加えて、6次産業化、有用生物資源の利活用、バイオテクノロジーの応用、自然環境の保全など、扱う分野が多様化しており、これらに総合的に対応できる人材が求められています。本専攻では3コースのカリキュラムを一本化し、共同獣医学科の教員も参画して、幅広い学問領域を学修できる教育体制としています。また2019年度より、日本人と外国人が共修する「菌類きのこ資源利用科学特別プログラム」をスタートさせ、グローバルな視点を持ったきのこ研究者の養成を進めています。

コースの目的

里地里山環境管理学コース

人々の営みが地域の資源・環境に及ぼす影響を自然科学と社会科学両面から学び、森林や自然、経済など里地里山の持続可能な保全・利用に貢献できる人材を養成します。

植物菌類生産科学コース

附属フィールドサイエンスセンターにおける広大な農地・森林や附属菌類きのこ遺伝資源研究センターの膨大な遺伝資源を最大限に活用し、専門家・技術者として生産現場で活躍できる人材を養成します。

農芸化学コース

化学と生物学、微生物・植物・動物の基礎から応用までを幅広く学び、生物資源や食品、環境などに関連した様々な知識と技術を有した人材を養成します。

菌類きのこ資源利用科学特別プログラム

世界的に類を見ない菌類きのこ資源科学に特化した、留学生及び日本人学生が共修するためのプレ博士課程となる特別コースです。世界で活躍できる菌類きのこ資源科学研究を推進できる人材を養成します。



専攻 URL

<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/graduate2016/>

わたしたちの未来の鍵を握る乾燥地のために、今できること

乾燥地は世界の陸地面積(南極を除く)の46%を占め、そこには世界人口の約3分の1以上に相当する人々が暮らしています。乾燥地には環境問題や食糧問題等の地球規模課題が山積しています。これらの解決には農業、環境保全等に関する知識や技術と共に、そこに生きる人々の多様な文化や民族に関わる知識を身につけることが求められます。本専攻ではグローバルな視点に立って、自然と調和する持続性社会の創生のため活躍できる人材を養成します。グローバル時代に生じている様々な問題に興味を持ち、解決のために自ら貢献したいと考えるみなさまの進学をお待ちしています。

コースの目的

特徴ある3つのコース

本専攻には「一般コース」、「特別コース」と「乾燥地科学エキスパートコース」があり、一般コースでは専門分野を基軸として乾燥地で生じている問題を解決できる人、特別コースでは授業や研究指導等をすべて英語で学び、より実践的に海外で活躍できる人、乾燥地科学エキスパートコースでは博士後期課程までの5年間を一貫して英語で学び、高度な研究能力を有するエキスパートを養成します。

※「乾燥地科学エキスパートコース」は令和8年度開設予定。

教育・研究の特色

外国人教員による最高レベルの講義や海外演習

専門科目として、外国人教員によるトップサイエンティストレクチャ I, II, IIIや海外実践演習(E)を設け、海外の現場を体験しつつ、外国の現場で活躍できる人を養成します。

主担当教員による複数指導体制

主担当教員の他、2名の副担当教員を配置し、専門分野を高めると共に分野横断的に思考できる人を養成します。



授業の一例(一般コース)

科目名	
研究科共通	持続性社会創生科学概論1 国際乾燥地科学特論 I (環境)
専攻基幹科目	トップサイエンティストレクチャ I (E) サイエンティフィック・ライティング(E) 国際研究協創特論 (E)
専攻展開科目	海外実践演習(E) 乾燥地環境保全学特論 乾燥地灌漑排水学特論 乾燥地植物生態学特論 国際農業開発学特論
(E)は英語科目	

*IPDRE(国際乾燥地研究教育機構)



専攻 URL

<https://www.ipdre.tottori-u.ac.jp/dds/>



入学試験情報

鳥取大学大学院入試

検索

鳥取大学ホームページから、次のとおりアクセスしてください。

鳥取大学トップページ → 入試案内 → 大学院入試

URLはこちら <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/graduate>

各専攻の問い合わせ先は次のとおりです。

地域学専攻(地域学部教務係)

〒680-8551 鳥取市湖山町南4丁目101

TEL (0857)31-5077 E-mail reg-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

工学専攻(工学部教務係)

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101

TEL (0857)31-5186 E-mail en-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

農学専攻(農学部教務係)

〒680-8553 鳥取市湖山町南4丁目101

TEL (0857)31-5342 E-mail ag-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

国際乾燥地科学専攻

専攻全般に関すること(国際乾燥地研究教育機構事務室)

〒680-0001 鳥取市浜坂1390 乾燥地研究センター内

TEL (0857)30-6316 E-mail dds-zim@ml.adm.tottori-u.ac.jp

入試に関すること(農学部教務係)

〒680-8553 鳥取市湖山町南4丁目101

TEL (0857)31-5342 E-mail ag-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

A C C E S S



鳥取キャンパスと
乾燥地研究センター間は
シャトルバス運行中

鳥取へのアクセス

飛行機	東京(羽田)から1時間15分
	(特急スーパーはくと利用) 京都から3時間 新大阪から2時間30分
J R	(特急スーパーいなば利用) 岡山から1時間45分
	(特急スーパーおき・まつかぜ利用) 松江から1時間30分

発行元

持続性社会創生科学研究科

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101

TEL (0857)31-5796 FAX (0857)31-6762

メール st-kyokikaku@adm.tottori-u.ac.jp